

” ペデジャーなる ” Web

OB・OGと現役生を結びながら、懐かしさと新しさ香るつくばの風を、季節の便りとしてお届けしていきます。

筑波大学メールマガジン “ ペデジャー - なる ” 2016年2月-冬号

2016年2月18日



筑波大学メールマガジン “ ペデジャー - なる ” 2016年2月-冬号

OB・OGと学生を結びながら、懐かしさと新しさ香る筑波の風を季節の便りとしてお届けしていきます。

●●●●●●●●●● INDEX ●●●●●●●●●●

1. つくば土産のお話
 - － 旅行のお供の土産物。つくば土産は何がある？
2. 『朝日と氷』
 - － 天久保池で、朝日を待ってみました。
3. 親との距離のはかりかた
 - － 大学生と親の距離感は難しいなぁという話
4. ツクバネコスナップ 第七回
 - － 今回は新年を迎えた筑波の猫たちに迫ります。
5. 卒業を前に
 - － 6年間過ごした筑波大学との思い出

1 つくば土産のお話



3月も間近に迫り、筑波大学では年度の終わりも近づいてきた今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。私とえば3月25日に行われる卒業式を前にして、引っ越しと就職のための身辺整理に明け暮れる日々であります。

挨拶はここまでとしまして、ペデジャーなるの記事としての本題に入りたいと思います。今回の記事のテーマは『つくば土産』。遠出をしたのならば家族や職場にお土産を買ってくるのが、人間関係を円滑にするちょっとした工夫でしょう。しかしこのお土産選び、中々難儀するものであります。気の知れた友人ならともかく、それ以外の方々には変なものは送れません。駅近くのお土産屋さんで時間に追われながら迷った挙句、結局無難なクッキーなどに落ち着いてしまうことが多いのではないのでしょうか。そんなお悩みを解決するために、今回のこの記事では買いやすく美味いつくばのお土産を紹介致します。

1. コート・ダジュールの『はんじゅくちーズ』

(開店時間：10：00-20：00 店舗HP：<http://www.la-cotedazurl.com>)

茨城に名だたる洋菓子店、コート・ダジュール(キュート)」の中に出店しております。この店のお菓子はどれも美味しいものではありますが、やはりお土産に持つのなら看板商品である『はんじゅくちーズ』がお勧めです。つくば山麓で育てられた牛の牛乳を使用したこの半熟チーズケーキは、とろけるような食



感と上品な甘さが堪らない美味しさを生み出します。1口サイズで分けやすいのも好印象ですね。欠点としては冷蔵必須であり日持ちがしない点でしょうか。……長時間持ち運ぶ場合は、他のお菓子をお土産にすると良いかと思います。つくばにしかない洋菓子店ですし、どれを取ってもその辺の量産品とは比較できない美味しさがあります。

2. 蔵出・焼き芋かいつかの『焼き芋』

(開店時間：10：00-21：00 店舗HP：<http://www.kuradashi-yakiimo.com/>)



紹介するのがたかが焼き芋？と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、私をあえてこの焼き芋をつくば土産に推薦させて頂きます。日本テレビのTV番組『スッキリ!』でも紹介されたこの焼き芋屋ですが、コード・ダジュールと同じく「Q't」の中に支店を出しております。

写真に写っています通りグラム単位で量り売りされているこの焼き芋ですが、時期によって芋の品種が異なっており、その時々が一番美味しい品種を売りに出しているそうです。

肝心のお味の方なのですが、衝撃的という一言に尽きます。私は初めてこれを食べた時に、焼き芋という固定概念を覆されました。正直焼き芋なんて風物詩の食べ物に過ぎないと侮っていた私は、その日焼き芋の本当の美味しさを突き付けられました。それほど、今まで食べた焼き芋とは隔絶した美味しさを誇っていたのです。

「焼き芋なのにスイートポテト」と店舗HPに商品のキャッチコピーとして記載されていますが、これは誇張でも虚飾でもなく事実でした。むしろこの一言では表せない程の味わいを秘めているものです。唯一の欠点は美味しいものの宿命なのか、これもまた日持ちしないことでしょうか。日持ちするお土産が欲しい場合には、干し芋もありますのでこれがお勧めです。……ですがやはり、焼き芋をこそ味わって頂きたいとも思います。

3.つくばの地酒

知名度があまりありませんが、つくばには意外と地酒が多く存在しておりまして、これもまたお土産に最適かと思えます。特に前2つに紹介したような甘いものが苦手な方には、こういったお酒の方が気に入られるのかもしれない。具体的な銘柄としては、筑波大学の微生物生理化学研究室で開発された桐の花の酵母を用いた『桐の華』や、明治10年から続く蔵元が作る名ブランド『霧筑波』、筑波山に流れ和歌にも歌われる男女川(みなのがわ)の名を冠する『男女川』などの日本酒たちが駅構内のお土産店やつくばクレオスクエアで手軽に購入できます。私はそれほど日本酒に詳しい性質ではありませんが、酒飲みの父曰くどれも旨い酒だと聞いています。

ということで少しばかりではありますが、つくば土産を紹介させて頂きました。何かの折につくばにいらっしやることがありましたら、この記事を思い出して貰いましてお土産選びの参考にして頂ければ幸いです。

情報学群 知識情報・図書館学類4年 伊藤洸紀

2 『朝日と氷』



新年、あけましておめでとうございます。

私が前回「つくばの夜」を散策したことに引き続き今回は、「つくばの朝日」を写真でお届けしたいと思います。

1月下旬、朝日を写真に撮るために家を出たのは午前7時でした。冬の夜が長いこともあり、まだ日は出ておらず、空には陰っていない月がよく見える快晴でした。しかし、気温は約マイナス2 。耳が切れるように寒く、寒さに弱い私には厳しいものがありました。

早い時間ということもあり辺りは人が少なく、道路を走る車もまばらで、静かな雰囲気に包まれていました。そんな朝の空気の中をしばらく自転車で走ると、天久保池が見えてきました。皆さんは、天久保池に石で造られた岸がある事をご存知でしょうか？ その岸からは開けた池全体を眺めることができ、多少木がありますが、朝日を見るにはもってこいの場所です。私はその岸辺に陣取って朝日を待つことにしました。

しかし、待つと言っても先程述べたように気温はマイナス。防寒装備は厳重にしていたのですが、それでも震える寒さです。これから、朝日まで待たなければならないのか.....と思ってしまいましたが、その寒さで良いこともありました。

なんと、池全体が氷に覆われていたのです。温暖な地元で育った私にはそれが珍しく、朝日が出るまで氷で遊んで過ごすことにしました(自分でも幼いと思いつつ楽しかったです)。

そうこうして待つこと20分程。やっと朝日が出始めました。



晴れているので光がよく通り、天久保池に張った氷に反射してキラキラ輝き、それがとても綺麗でした。冬でこそ見ることができる光景です。そんな光景に感動しながら、写真をパシャリ。氷の上に椅子が置けたので一

緒に撮ってみました。我ながら、改めて見ると不思議な光景に感じます。

というわけで、氷を楽しみつつ無事写真を撮れた私は、満足して帰路についたのでした。

今回はつくばの朝日に注目しましたが、皆さんの普段の朝はどのようなものでしょうか。私は、朝には独特の静けさや光景があると思います。早起きは三文の得とも言いますが、皆さんも、いつもの時間より少し早く起きて散歩してみたいかがでしょう。もしかしたら、自分の知らない世界が広がっているかもしれません。

それでは、ここまで読んで下さり、ありがとうございました。

情報学群 知識情報・図書館学類3年 増田 空

3 親との距離のはかりかた

筑波大の年末休みは短い。去年は最後の授業日が12月28日で、翌日からやっと冬休みだった。私は28日の4時限目に試験、6時限目まで授業があった。試験勉強に疲れてSNSをのぞくと、他大学の友人たちが帰省したり、遊んだりしている様子が目に飛び込んできて羨ましくなった。その度に「あと何日頑張れば私も帰省できる、家族に会える」と自分を励ました。

ところがようやく試験を終え、気持ちを浮き立たせながら実家に帰っても、昔のようにくつろげない自分がいた。自分の部屋にこもって何かしていると、数時間に一度は何かの理由で母親が入って来ててもやもやする。居間へ行って両親のどちらかと2

人っきりになると、何を話せば良いか分からず落ち着かない。お風呂上がりの父親に遭遇すると気分が萎える。親との距離感がいまいち掴めないのである。

まあ無理もないだろう。大学に入学して一人暮らしを始めてから、ほとんど親とは連絡をとらなくなった。帰省以外で会うこともない。親がいない日常に慣れた体は、突然元の実家に放り出されてもうまく適応できないようだ。

一人暮らしの大学生と親の距離感は、大体こんなものだと思っていた。だが最近は親子の距離が縮まる傾向にあり、親と買い物に出かけたり休日を一緒に過ごしたりする「親ラブ族」なるものが増えているらしい。

私の周りにも、いる。例えばある女友達は、母親とよく電話するらしく、恋愛相談に乗ってもらっている。母親は娘の交友関係をほとんど把握しているのだという。またある男友達は、年末にインフルエンザにかかった時、親が車で飛んできた。車で息子を病院へ連れていき、その足で実家に連れ帰ったのである。私だったら恋愛のことなんて放っておいてほしいし、ちょっとした病気で親が飛んできたら恥ずかしい。だが私が何より驚くのが、彼らは親と仲が良いことをプラスに捉えていて、普段から母親とのやりとりを堂々と話してくることだ。この意識の違いは何だろうか。

世間では親子関係が密になりすぎること懸念する声があり、社会的な自立が遅れるという指摘もあるという。

だが、親と仲の良い友人たちを見ていると、彼らが親孝行な子どもで、親にほとんど連絡をよこさない自分が

親不孝者に思えてくる。大学生と親との距離はどれくらいが望ましいのだろう。「親ラブ族」だったらすぐ親に相談するのかもしれないが、私にはできそうにない。

生命環境学群生物学類3年 添島香苗

4 ツクバネコスナップ 第七回

新しい年がやってきました。現在三年生の冬を過ごしている私にとって、大学へ入ってから新しい年を迎えるのはこれで三回目となります。年を重ねるごとに年越しという行事から新鮮味が消え、淡々としたものに思えてくるのは私だけでしょうか。

つくばも一月に入り、天気予報で最低気温がゼロ度を下回ることが少なくない日々が続いています。昼間の晴れた天気につられて寒さ対策のできていない服装をしてしまうと、夜間の厳しい冷え込みに耐えることができません。そんな寒暖差激しいつくばの地でツクバネコたちはどのように新年を迎えているのでしょうか。

【第七回】新年ネコ

今回のツクバネコとの出会いは一月も半ばのある晴れた日の午後のことです。平砂宿舎から追越共用棟までの道のりを友人と自転車を走らせていると、何やら白い影が駐輪場でもぞもぞと動いているのを見つけました。自転車を止めて近づいてみると影の正体は一匹のツクバネコでした。この寒い季節にツクバネコを外で見かけることは滅多にないのですが、珍しく日向ぼっこをしているところに遭遇することができたようです。

昨年、同じくこの季節に発行された「ペデジャーなる冬号」に「ツクバネコスナップ」を寄稿する際、ツクバネコを見つけることがなかなかできず大変苦労した思い出があります。このツクバネコとの出会いを逃すまいとすぐさまカメラを構え、駐輪場に這いつくばって必死でシャッターを切る私。呆気にとられながらその様子を眺めている友人には、強制的に助手として撮影に協力してもらうことにしました。「そこ首から背中にかけて撫でて」、「そのまま止まって」、「腕以外入り込まないで」、「いったん退いて」などなど、今思い返すとなかなか理不尽な注文の連続でしたが、快く応じてくれた友人に感謝します。次第に乗り気になった友人は積極的にネコにスキンシップを試み、ネコはネコでこの寒い季節に仲間を見つけられず寂しかったのか、我々に心を許し気持ちよさそうに身を委ねはじめました。友人と男二人で中腰になり、通り過ぎていく人々の視線を浴びながらツクバネコと戯れたこの午後のことは、これから先も鮮明な記憶として私の心に残っていくだろうと思います。



(結果撮れたショット)

思えば高校生までの自分にとって一週間や一ヶ月、そして一年という生活におけるそれぞれのルーティーンの中にはどこかに必ずちょっとした新鮮味がありました。当時の出来事はどんな些細なことであれ、味わったことのない経験として鮮明に心に残っています。一方現在はというと、淡々としたモラトリアムな学生生活の中で、良くも悪くも“味わったことのない経験”を運んでくるような波風が立つことは少なくなりました。なんてことない日々の見慣れた風景を鮮明な記憶へと変えてくれるのは、ちょっとした偶然だったり、周りにいる友人だったり、あるいはその風景の片隅で暢気に昼寝をしているツクバネコだったりするのかもしれません。

情報学群 知識情報・図書館学類3年 大嶋航平

5 卒業を前に



お正月ムードもあっという間に過ぎ、気付けば春が目前に迫ってきています。春は生活の変化が多い季節でもありますよね。もしかしたら今、引っ越しなどでバタバタしていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。私も次の春には卒業、そして新社会人デビューという大きな変化が待っています。ということで、今回は新しい生活を迎える前に大学生活を振り返ってみたいと思います。私は学群からそのまま大学院にまで進んだので、大学入学頃となると、もう6年くらい前の記憶になってしまうのですが、それでも最初の受験から入学の時までの事はよく覚えています。

実は私は受験前の夏ぐらいまでは他の美大を受けたいと考えていました。家族や先生と相談した結果、筑波大学を目指そうという事になったのですが、それでも美大への憧れは残ったままでした。

そのため大学に入学した頃、私は自分の選択を信じきれず筑波大学に対して不安を感じていたのです。そんな私の不安を吹き飛ばしてくれたのは、課題や制作に共に励んだ大学の同級生や、何度も歓迎会を開き、優しく接してくれた先輩方の存在でした。筑波大学の芸術系は、他の大学と比較すると人数は少なめだと思いますが、だからこそ領域や学年を超えて、横にも縦にも広く、濃い人間関係が作れたように感じています。

これは筑波大学ならではの分からないのですが、宅飲みや自宅での鍋パーティーで安くゆっくり楽しめる場所も魅力の一つですよ。先生や友人の誕生日を皆でお祝いした事も良い思い出です。

そんなこんなで制作とイベントを交互に過ごしていたら、あっという間に卒業が間近にやってきてしまいました。最初は不安もありましたが、今では筑波大学が大好きになり、離れる事を心から寂しく感じています。ちなみに今は卒業展示の準備であたふたとしており、最後まで大慌て……ではなく充実した大学生活を送る事になりそうです。

ここで少し卒業展示のアナウンスをさせていただきます。この記事が配信される頃には一部終わってしまっている展示もあると思いますが、お時間がございましたらぜひご来場ください。

卒業制作展 前期（2016年2月2日-2016年2月7日）

芸術専門学群

芸術学：美術史/芸術支援

美術：洋画/日本画/彫塑/書/版画

卒業制作展 後期（2016年2月9日-2016年2月14日）

芸術専門学群

構成：総合造形/クラフト/構成/ビジュアルデザイン

デザイン：情報デザイン/プロダクトデザイン/環境デザイン/建築デザイン

修了制作展 前期（2016年2月16日-2016年2月21日）

博士前期課程芸術専攻

芸術学：美術史/芸術支援/洋画(版画)/日本画/彫塑/書

修了制作展 後期（2016年2月23日-2016年2月28日）

博士前期課程芸術専攻

デザイン：総合造形/クラフト/構成/ビジュアルデザイン/情報デザイン/プロダクトデザイン/環境デザイン/建築デザイン

芸術学専攻 卒業論文発表会（2016年2月5日13時～）

於：筑波大学総合交流会館マルチメディアルーム

美術史領域・芸術支援領域 修士論文発表会（2016年2月19日13時～）

於：芸術学系棟B203

WEBサイト

<http://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/sotsuten/info/658>

今回の記事は私の感慨をつらつらと書いてしまいましたが、ぜひ皆様も大学生活のことを振り返り、思い出を新しい春へのエネルギーにしてみてください。

人間総合科学研究科 芸術専攻大学院2年 金森陽子



🌀 編集後記

今回のペデジャーなる冬号はいかがだったでしょうか？ お忙しい皆様の息抜きになると共に、少しでも筑波大学とつくばのことを懐かしんで頂ければと思っております。さて、私が編集長を務めるペデジャーなるはこの号で最後となり、次の春号からはまた新しい編集長の元で配信を行わせて頂きます。そして、私は春からは社会人かつ筑波大学のOBとして、ペデジャーなるを読む立場に移るわけです。そう考えてみますと今このペデジャーなるを読んで下さっている中にも、かつてペデジャーなるを編集されていた方がいらっしゃるのだと思います。私はこの単純なことに今の今まで気付くまででしたが、次の編集長にはこのことを胸に刻んでもらい、私以外の先達に恥じぬよう活動してもらえればと願います。しかし、メールマガジンとは編集者だけで成り立つものではなく、読者の皆様あってこそその存在です。つきましては読者の皆様には今後とも変わらぬご愛顧のほどをお願いできればと思いながら、編集長として最後の記事を終わりにさせて頂きます。本年度もペデジャーなるにお付き合いただき、誠にありがとうございました。

情報学群 知識情報・図書館学類4年 伊藤洸紀

🌀 おしらせ

< 「ペデぶろぐ」について > ペデジャーなるのブログを開設しています。

投稿内容は「ペデジャーなる」の配信に関するお知らせやミーティング風景などなど。「ペデジャーなる」をもっと身近に感じていただけたらと思います。また、ペデぶろぐには連絡フォームもございますので、気軽にご要望や感想も送信することができます。

「ペデジャーなる」とともに「ペデぶろぐ」もよろしくお祈いします。

<http://pedejournal.blogspot.jp/>

< 「筑波大学校友会カード」について >



平成27年4月1日から筑波大学公式クレジットカード「筑波大学校友会カード」事業がスタートいたしました！

インターネットからもお申込みいただけますので卒業生の皆様もぜひご利用ください！

詳しくは、<https://alumni.tsukuba.ac.jp/cashcard.html>をご覧ください。

< 「筑波大学・ボルドー大学との連携協定を記念したボルドーワイン特別ボトル」について >

このたび、ボルドー大学との本格的な連携開始を記念して、ボルドー大学の提携研究機関であるフランス国立農業研究所（INRA）で醸造された希少な赤ワイン「シャトー・クーアン・ルージュ」の特別ボトルを制作しました。オリジナルラベル（筑波大学 × ボルドー大学限定ラベル）は、本学の原忠信芸術系准教授がデザインしたものです。

本学の卒業生である株式会社カクヤス様の佐藤社長のご協力により、500本に限って一般販売され、売り上げの一部が大学基金に納付されます。

購入ご希望の方は下記のご購入サイトからお申し込みください。

問い合わせ先：筑波大学連携・渉外室

TEL：029-853-5845

Mail：renkei @ un.tsukuba.ac.jp

（「 @ 」は「@」に置き換えてください）

ご購入サイト

http://www.kakuyasu.co.jp/news/feature/201509_tsukuba/



- 🍷 筑波大学 公式ホームページ: <http://www.tsukuba.ac.jp/>
- 🍷 筑波大学 facebook: <https://www.facebook.com/univ.tsukuba.ja>
- 🍷 筑波大学校友会SNS「KUTTUK ba」: <https://alumni.tsukuba.ac.jp/>

（筑波大学校友会SNS / 筑波大学生涯メールアドレス 利用登録募集中!）

- 🍷 編集・発行：「ペデジャーなる」編集ワーキンググループ
- 🍷 デザイン・配信作業：国立大学法人筑波大学連携・渉外室

🌸 ご意見・問い合わせ先：国立大学法人筑波大学 連携・渉外室

〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1 丁目 1 - 1

TEL:029-853-2030 FAX:029-853-6576

gakuyu@un.tsukuba.ac.jp

🌸 配信停止をご希望の方

下記メールアドレス宛に『配信停止希望』の旨明記し、送信してください。

gakuyu@un.tsukuba.ac.jp

メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。
Copyright © 2014 University of Tsukuba. All Rights Reserved.